

協働事業に関する企画書

団体名 さやマーチ

1 事業名	狭山で産後ケア！
2 事業の詳細	日本の母子保健の制度には、出産後の身体のケア＝「産後ケア」の仕組みがない。さやマーチにおいて、産前産後の女性を対象に産後に関する「産後ケア」の普及・啓発活動(チラシ等での情報提供)・産後ケアの体験会[産後のヘルスケアプログラム(バランスボール・コミュニケーションワーク・セルフケア)の提供]を目的としている。多くの市民に「産後ケア」の重要性を届けるため主に普及・啓発活動及び体験会にかかる費用について補助を受けようとするものである。まだまだ認知度の低い「産後ケア」を狭山市の先進的な取り組みとして行うことで、他の市町村との差別化が図られ、結果「子育てしやすいまち狭山」のつながるものである。
3 実施体制	さやま市民大学の修了生を中心に結成された有志ボランティア団体である。スタッフのほとんどが看護師、保育士、教諭等の有資格者であり、産後ケアから母のヘルスケアだけでなく、子どもの健全な発達や発育に関しての専門的なスタッフで構成されている。
4 役割分担	【提案団体の役割】 ・普及・啓発活動(保健センター等公共施設での広報活動及びチラシ設置) ・体験会実施に関する項目(開催日決定、参加者公募手続・会場・講師・保育手配等) 【市の役割】 公共施設等での広報活動及びチラシの設置の許可。協働事業の連携先として保健センターから前向きな回答を得ている。
5 協働の効果	市と協働することで市民がまだ聞きなれない「産後ケア」の重要性を認識するきっかけになる。産後ケアの認知度が高まることで、子育てにおける諸問題(育児の孤立化・児童虐待・夫婦不和・女性の再チャレンジ・地域活性化・少子化問題等)解決につながる。協働事業を通し「産後ケア」の認知度が高まり、最終的には活動する上での自立を目指すものである。
6 事業のアピールポイント	「子育てしやすいまち」とされている自治体ではすでに「産後ケア」が導入されており、埼玉県において先進的な取り組みとして「子育てしやすいまち狭山」のPRIにつながるものである。「産後ケア」がきっかけとなり、自分の住む地域で交流を深め、育児の孤立化を防ぎ安心して子育てできる環境づくりをすることができる。実施場所として狭山元気プラザは、保育室・駐車場完備であり、体験会終了後コミュニティカフェでランチ交流会が行える最適な場所である。「受け身」のケアではなく、あくまで自立した大人として、本来自分の持つ力を引き出すことで社会と繋がり・地域の担い手としての気力が高まる事業である。